

廃石こう板再利用を

県、青森で支援セミナー

丈夫で耐火性に優れて
いるため建築材料として
多用され、廃棄物の排出
量が年々増加している石
こうボードについて、県
は十五日、リサイクル産
業支援セミナーを青森市
のラ・プラス青い森で開
き、地盤改良材などと
して再利用している県外の
先進事例を紹介した。

建物解体後、石こうボ
ードの大部分は埋め立て
処分されているが、硫化
水素発生の恐れがあると
して環境省は二〇〇六年
六月、管理型の最終処分
場に搬入するよう通知
し、最終処分場の逼迫(ひ
つぱく)の一因になると
指摘されている。

指摘されている。セ
ミナーでは、長崎県
の産業廃棄物処分量「真
実



県外の先進事例を学んだ支援セミナー

人」の山本芳弘社長が講
演。廃石こうボードから
紙を分離、破碎して熱処
理した石こうを中性固形
材として販売し、河川改
修工事などに使用してい
る実績を紹介した。

山本社長は「石こうの
再利用を全国に広げた
い。青森県でも実用化し
てほしい」と、出席した
約六十人の解体業者や建
築業者に説明した。

県環境政策課による
と、県内の廃石こうボー
ド排出量は〇五年に推計
約一万八千トで、前年よ
り三千ト増加している。
県内の産廃業界は、組合
方式によるリサイクル事
業の実現を模索してい
る。

特大茶わん 新春の一服

奈良・西大寺で初釜

顔をすっぱり覆い隠す
ほどの特大の茶わんで抹
茶を振る舞う伝統行事

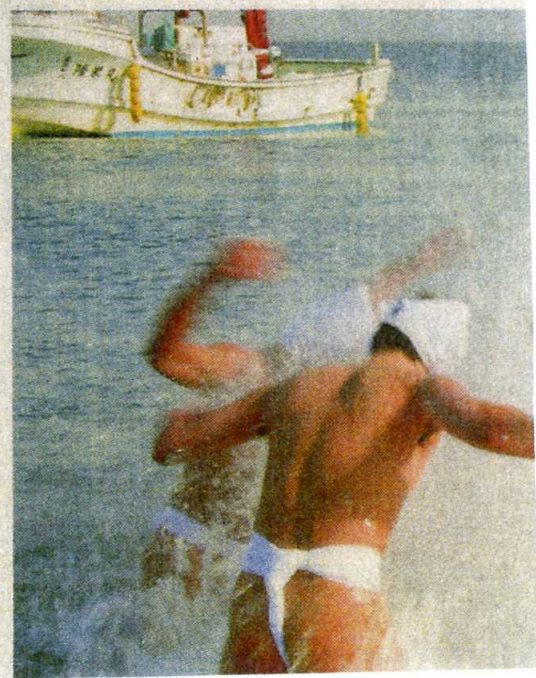
「大茶盛り」の初釜が十
五日、奈良市の西大寺で
あり、参拝客らが新春の

入った茶わんは約七キロも
あり、女性客らが両脇か
ら支えてもらいながらお
茶を飲むユーモラスな姿

に、お茶席は和やかな笑
い声に包まれた。鎌倉時



舞われた
参拝客=15日



青い目のコアラ

豪の動物園 生後9カ月

【シドニー15日共同】

オーストラリア東部ゴー
ルドコーストの動物園
「ドリームワールド」で、
世界初とみられる青い目
のコアラが生まれ、十五

代に西大寺を再興した僧
叡尊が、正月の法要が無
事に終わったお礼として
神社に奉納したお茶の余
りを参拝者に配ったのが
由来で七百五十年以上続
いているとされる。

「オール・ブルー・ア
イズ(OL・BLUE・
「コアラ

幼なじみの友人二人と
来た奈良市の大学四年、
ナカ真里子(マコト)

